

開 會 午後四時三十分

○宣 言 文 別紙の通

宣 言

吾々は無産階級の一分野である、農民運動の戦線に参加して以來既に十有餘年の歴史を持ち今鮮かに歩み來つた過去の足跡を省る時歴史の轉換に驚き且つ重慶を感ずる、徳川三百年の水き武家政治は民衆の憤激によりもろくも破れ次に來つた資本主義社會は機械と少年工の酷使によつて熟練職工を失業の中に追込み産業設備軍として街頭に氾濫せしめ中小商工業者は金融、産物資本の挾撃に追撃を受け遂には併呑され再び起つ能はざる窮地にたゞき漸し俸給生活者をして敵自と陶汰の前に日夜戦慄し絶へざる不佞と焦風の中に起臥してをり一度農村を眺める時極少數の大地主のみは超然として農民の苦難を睥睨し中小地主は年毎に自作農へ没落し自作農、小作農は貧農へと急激な轉落を示しドン底生活の中に苦惱してゐる、如斯き民衆の全面的救済に對して何を興へて呉れ